

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 4 区分

【発行日】平成 26 年 7 月 17 日 (2014.7.17)

【公開番号】特開 2013-176194 (P2013-176194A)

【公開日】平成 25 年 9 月 5 日 (2013.9.5)

【年通号数】公開・登録公報 2013-048

【出願番号】特願 2012-38212 (P2012-38212)

【国際特許分類】

H 0 2 K 1/18 (2006.01)

H 0 2 K 15/095 (2006.01)

H 0 2 K 1/04 (2006.01)

H 0 2 K 3/12 (2006.01)

【F I】

H 0 2 K 1/18 C

H 0 2 K 15/095

H 0 2 K 1/04 A

H 0 2 K 3/12

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 6 月 2 日 (2014.6.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

本発明の回転電機は、回転子と、横断面が湾曲した形状をそれぞれ有し、前記回転子を囲むように環状に連結された複数のコアバック、及び前記コアバックの回転子側の面から立脚して形成されたティースを備えた固定子鉄心と、横断面が湾曲した形状を有し、前記コアバックの回転子側の面に設けられた絶縁部と、前記絶縁部の回転子側の面と前記絶縁部の両端を結んだ線分とで囲まれる領域を含めて前記ティースに巻線が巻回されて構成されたコイルとを備えたものである。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 4】

以上のように、本発明の実施の形態においては、回転電機は、回転子 3 8 と、横断面が湾曲した形状をそれぞれ有し、回転子 3 8 を囲むように環状に連結された複数のコアバック 1 b、及びコアバック 1 b の回転子 3 8 側の面から立脚して形成されたティース 1 a を備えた固定子鉄心 1 と、横断面が湾曲した形状を有し、コアバック 1 b の回転子 3 8 側の面に設けられた絶縁部 3 と、絶縁部 3 の回転子 3 8 側の面と絶縁部 3 の両端を結んだ線分とで囲まれる領域を含めてティース 1 a に巻線が巻回されて構成されたコイルとを備えたことにより、固定子巻線 4 0 0 の巻崩れと巻膨れを防止することができる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

回転子と、

横断面が湾曲した形状をそれぞれ有し、前記回転子を囲むように環状に連結された複数のコアバック、及び前記コアバックの回転子側の面から立脚して形成されたティースを備えた固定子鉄心と、

横断面が湾曲した形状を有し、前記コアバックの回転子側の面に設けられた絶縁部と、
前記絶縁部の回転子側の面と前記絶縁部の両端を結んだ線分とで囲まれる領域を含めて前記ティースに巻線が巻回されて構成されたコイルと
を備えたことを特徴とする回転電機。

【請求項 2】

前記コイルは、前記絶縁部の両端からはみ出さないように前記ティースに巻回されていることを特徴とする請求項 1 記載の回転電機。